

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

FAX RECEIVED

MAR 17 2006

(11)Publication number : 03-196288

(43)Date of publication of application : 27.08.1991

OFFICE OF PETITIONS

(51)Int.Cl.

G07D 9/00

E05G 1/00

G06F 15/30

(21)Application number : 01-334767

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 26.12.1989

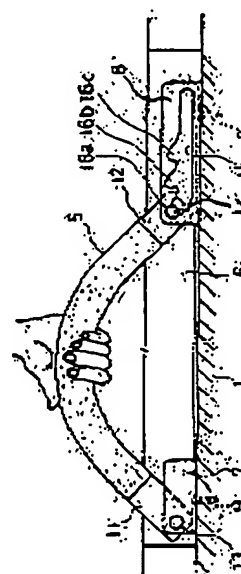
(72)Inventor : KOBAYASHI MASAKI

(54) SAFE CASSETTE

(57)Abstract:

PURPOSE: To carry a safe cassette in a stable state by selecting a detention receiving part by which the point of applications of the force to a grip coincides with or is the nearest to the perpendicular line which passes through the center of gravity of the safe cassette.

CONSTITUTION: A grip 5 which has both ends supported on the side face of a safe main body 1, a detaining tool 14 in one end side of the grip 5, and plural detention receiving parts 16a to 16c which are arranged on the side of the safe main body 1 in the lengthwise direction of the grip 5 to selectively detain the detaining tool 14 are provided. When the detaining tool 14 of the grip is detained by one detection receiving part at the time of carrying the safe cassette, the detention receiving part by which the position of the force point of the grip coincides with or is most approximated to the perpendicular line of the center of gravity of the safe cassette is selected from detention receiving parts 16a to 16c. Thus, the stability of the safe cassette is increased when it is carried.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平3-196288

⑬ Int. Cl.

特許庁

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)8月27日

G 07 D 9/00
E 05 G 1/00
G 06 F 15/30408 E
B
D 8111-3E
8303-2E
6798-5B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 金庫カセット

⑯ 特 願 平1-334767

⑰ 出 願 平1(1989)12月26日

⑱ 発 明 者 小 林 正 樹 神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社東芝柳町工場内
 ⑲ 出 願 人 株 式 会 社 東 芝 神奈川県川崎市幸区柳町72番地
 ⑳ 代 理 人 弁 理 士 鈴 江 武 彦 外 3 名

明 細 書

1. 発明の名称

金庫カセット

2. 特許請求の範囲

貨幣自動取引装置に使用される金庫カセットにおいて、金庫本体と、この金庫本体の側面に開閉を支持される取手と、この取手の少なくとも一端側に設けた係止具と、上記金庫本体側に上記取手の長手方向に沿って配設され上記係止具を選択的に係止する機構の係止受部とを具備したことを特徴とする金庫カセット。

3. 発明の詳細な説明

〔発明の目的〕

〔産業上の利用分野〕

本発明は、例えば銀行の機械化コーナー等に設けられる貨幣自動取引装置に使用される金庫カセットに関する。

〔従来の技術〕

近年、貨幣自動取引装置にあっては、運用資金の効率化を図るため、入金された紙幣を出金の

紙幣に充当する紙幣箱形式のものが多く使用されるようになってきている。

この種の紙幣自動取引装置に使用する金庫カセットとしては、上部に設けた口部から紙幣自動取引装置に入金された紙幣を取り込んで収納したり、収納した紙幣を取り出したりする機能を有している。このため、金庫カセットには、収納部だけではなく、紙幣を取り出すローラやゲート等の複雑な機構を組み込んでいる。したがって、金庫カセットの重心は、その金庫カセットの中心より一方にずれている。

また、金庫カセットの一面には、両端を固定した取手が取り付けられており、これによって金庫カセットを横にしながら下げて運搬するようにしていた。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述したように、金庫カセットの取手は、その金庫カセットの一面に両端を固定してあるから、取手の力点は、1点に定まってしまう。そして、通常、金庫カセットの取手は、その金庫カセット

特開平3-196288(2)

の重心の附近上方に設けることが望ましい。

しかし、上述した理由によって金庫カセットの重心は、その金庫カセットを嵌めたとき、その金庫カセットの中心より前方にあることから、取手を金庫カセットの重心の附近上方に設けることは、困難な場合が多い。

このように取手を金庫カセットの重心の附近上方に設けていない場合、常に、不安定な状態で金庫カセットを運搬しなければならない。

また、取手を金庫カセットの重心の附近上方に設けることができた場合でも、金庫カセット内が空のときと紙幣を収納しているときとでは、その金庫カセットの重心が異なり、常に、安定した状態で金庫カセットを運搬することができるとは限らない。

本発明は上記課題を容易に克服してなされたもので、その目的とするところは、金庫カセットの重心位置に応じて取手の力点の位置を移動して安定した状態で運搬できる金庫カセットを提供することにある。

【発明の構成】

（課題を解決するための手段）

上記課題を解決するために本発明は、貨幣自動取引装置に使用される金庫カセットにおいて、金庫本体と、この金庫本体の側面に両端を支持される取手と、この取手の少なくとも一端部に設けた係止具と、上記金庫本体側に上記取手の長手方向に沿って設けられ上記係止具を選択的に係止する複数の係止受部とを具備したものである。

（作用）

しかし、金庫カセットを持ち運ぶ場合、金庫本体側に設けた複数の係止受部から選んで、これに取手の係止具を係止するが、このとき、その取手の力点の位置が金庫カセットの重心の附近上方に一致あるいは最も近づくものを選択して係止する。

この結果、金庫カセットを持ち運ぶ際、その金庫カセットの安定性が得る。

（実施例）

以下、本発明の一実施例を図面を参照して説

明する。第1図は、貨幣自動取引装置に使用される金庫カセットを示す。この金庫本体1は、その上部前面に紙幣を取り込む取入れ口2を、上部後面には紙幣の吐出し口3を設けてなり、この金庫本体1を貨幣自動取引装置に嵌装したとき、入金された紙幣を取入れ口2から取り込み、紙幣吐出し口3から紙幣を吐出するようになっている。

金庫本体1の上部内には、紙幣を取り込んで収納部（図示しない。）へ送って収納したり、収納部の紙幣を吐出し口3から取り出す機構（図示しない。）が組み込まれている。

金庫本体1の一面には取手5を設ける溝部6が形成されている。取手5は、その溝6内に設けられるとともに、その溝部6の両端部に設けた後述する取付けベース7、8に対して取手5の各端部を支持するようになっている。上記取付けベース7、8は、第2図で示すように、皿状で、金庫本体1側に固定されている。取付けベース7、8は、1枚の板材の両端左右部分をそれぞれ折曲げて立ち上げることにより形成されている。

なお、第1図で示すように溝部6の中央部分は、その溝部6内から手で取手5を引き出し易いように幅を広く形成している。

取手5は、ある程度の弾性的な伸びを有する筒状の部材からなり、その両端には、それぞれに金具11、12が取付されている。一方の金具11には、これを支持する支持ピン13を設けてなり、この支持ピン13は一方の取付けベース7に取付し、固着自在に支持されている。

また、他方の金具12にはこれを貫通する係止具としての支持ピン14を有してなり、この支持ピン14を他方の取付けベース8に係止するようになっている。

第2図で示すように取付けベース8には、取手5の両端に位置して支持ピン14の両端をそれぞれ係り込んで取手5の長手方向に沿って案内する長孔15を取手5の両端に形成してなり、さらに、長孔15には取手5の長手方向に沿って所定の間隔をおいて複数の係止突起16a、16b、16cが設けられている。すなわち、各係止突起

特開平3-196288(3)

16a, 16b, 16cは長孔15から取手5の持ち上げ方向へ傾斜に傾く孔部分からなり、この係止受部16a, 16b, 16cに、係止具としての支持ピン14の両端を嵌めし込んで自動自在に係止するようになっている。

しかして、このように構成された金庫カセットを閉にしておろ下げながら運搬する場合、金庫本体1の一面にある係部6に嵌り込んでいた取手5の中央部分を手でつまみ出し、図3図で示すように把持する。そして、この状態で金庫カセットをおろ下げて運搬する。この金庫本体1の最も低い上部は、おろ下げた場合、背面に位置する。このため、金庫本体1の重心は背面にずれて位置する。

しかし、取手5の中央を手に把持してたたまけながら引き出すと、図3図で示すように、後面の金具12にある係止具としての支持ピン14が取付けベース8における長孔15に沿って前方へスライドする。このため、取手5の把持部(取手5の中心一方向)は前方へ移動する。そして、把持部(力点)が金庫カセットの重心Gの前後方向に

一致、または最も近づいたところで、その支持ピン14の両端を対応する係止受部16a, 16b, 16cに沿らし込んで係止する。第3図では最も前の係止受部16aへ係止具としての支持ピン14の両端を沿らし込んで自動自在に係止した状態を示している。

この状態で、取手5を手で把持して金庫カセットを閉にしておろ下げながら運搬すれば、把持部(力点)が金庫カセットの重心Gの前後方向に一致、または最も近づいたところに位置するため、その金庫カセットを安定した状態で持ち運べる。

なお、図4図で示すように金庫カセットを立てて持ち運んだり取り出したりできる。この場合、取付けベース7に取付けた金具11がある程度以上回転すると、当てるストップを設ければ、取手5の過度の傾斜を防止できる。

さらに、後面の金具12にある係止具としての支持ピン14を取付けベース8における最も後の係止受部16cに沿らし込んで係止させておけば、取手5の過度の傾斜をより防止できる。

なお、本発明は上記実施例のものに限定されるものではない。例えば係止具に対して選択的に係止する係止受部を取手の他方向に設けてもよいし、取手の両端部に設けてもよい。

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、金庫カセットを持ち運ぶ場合、金庫本体側に設けた複数の係止受部から、これに取手の係止具に係止したとき、その取手の力点の位置が金庫カセットの重心の前後方向に一致あるいは最も近づくものを選択して係止することにより、金庫カセットの重心位置に応じて取手の力点の位置を移動して安定した状態で運搬することができる。

4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の一実施例を示すもので、第1図はその金庫カセットの斜視図、第2図は取手の取付け部の断面図、第3図は金庫カセットを下げて運ぶときの取手の取付け部の断面図、第4図は金庫カセットを立てた持ち方をしたときの取手の取付け部の断面図である。

1…金庫本体、5…取手、7、8…取付けベース、14…支持ピン、16a, 16b, 16c…係止受部。

出願人代理人 弁理士 鈴木武彦

特開平3-196288(4)

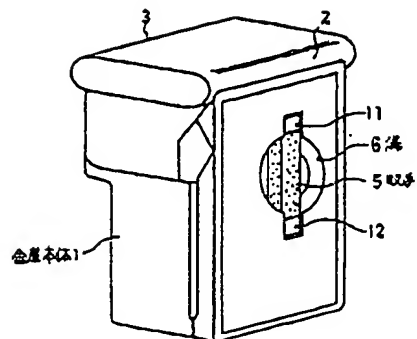


図 1

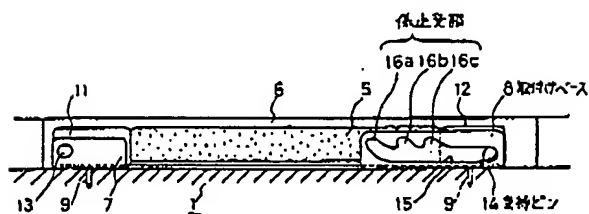


図 2

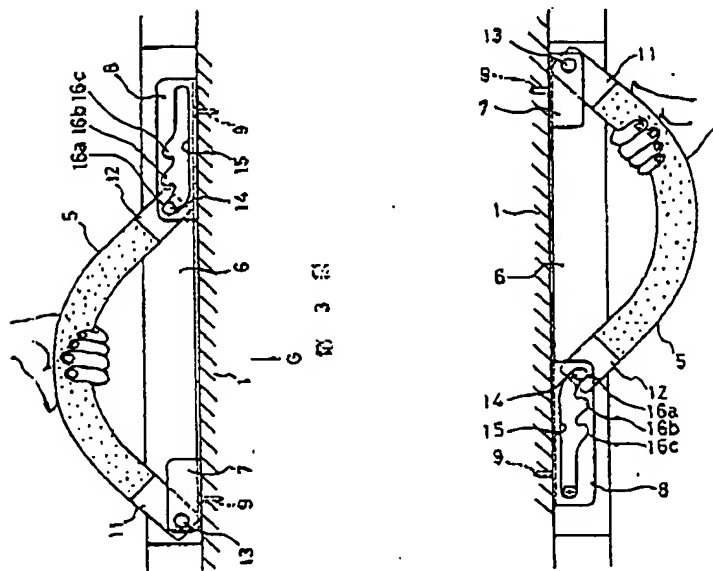


図 3

図 4

-770-